

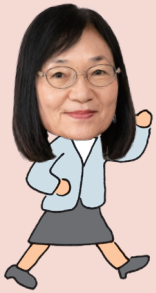
HOMECOMING DAY

ホームカミングデーを松江・出雲両キャンパスで開催。
松江キャンパスでの開催は8年ぶり。

当日は、卒業生・修了生・在学生・教職員に加え、在学生の保護者や島大会員、地域の方を島根大学の各キャンパスにお迎えし、大学の活動紹介や学生発表、教員による講演が行われました。



人とともに地域とともに、
創る大学



理事／副学長
金山 富美

ホームカミングデーは、卒業生をはじめとする島根大学の応援団の方々に「地域とともに歩む」本学ならではの教育研究の取り組みや学生の成長の様子をお伝えし、相互交流を深める催しです。コロナ禍が明け、再開を待ち望んでいて下さった多くの声に応え、松江キャンパスでは8年ぶりの開催を果たしました。学生の司会進行で、大谷浩学長が語る島根大学のビジョン、新学部ではつらつと学ぶ学生の姿、青春そのものを映し出す学生サークル活動の状況、また知見を広げる文化講演など、たゆまず前進を続ける本学の熱意とエネルギーをじかに感じていただだけ、懐かしい先生方との再会も嬉しかったとの喜びの声、そして感謝のお言葉さえ頂戴し、光栄でした。来年もともに楽しみ、笑顔を交わし合える企画でお待ちしております。

将来性のある学部の
学びを多くの人に



材料エネルギー学部
2年生 山田 杏美

初めてホームカミングデーに参加し、在学生として発表しました。私が所属する材料エネルギー学部は、2023年度に「エネルギー問題を材料から解決する」をコンセプトに新設された学部ということもあり「何の研究をしているの?」とよく聞かれます。材料＝金属と思っている人も多く、今回の発表では学部で行っている最先端の研究を少しでも多くの方に知ってもらいたいと思い、発表内容は解りやすく工夫をしました。また、今後、語学と研究の両方の学びを海外で深めたいと考えています。一方で、海外留学を希望していても、海外の大幅な物価高騰などで断念する人も多いという現状もあり、ぜひ学びのサポート・ご支援についても引き続きお願いしたいという思いをお伝えしました。

一致団結して取り組む
医学部の未来



医学部 小児科教授
竹谷 健

これまでのホームカミングデーと異なり、学長と若手医師という組み合わせで講演を行いました。大谷学長からは医学部としての展望と未来ある医学部への期待を、最前線で活躍する医師からは、現況と具体的な仕事内容をお話することで島根大学医学部のあるべき姿を講演いただきました。参加者からの質問も予想以上に多く、医学部や医療に対する関心の高さを感じるとともに、一致団結して前に向かって進んでいることを伝えることができたのではないかと思います。来年、島根大学医学部は創設から50周年を迎えます。医学部発展のために多くの方々のご協力・ご理解が必要です。まずは知ってもらえるこのような機会を大切に、来年以降もより多くの人に医学部の現状を伝えられる企画にしていきたいと思っています。

卒業生との絆を深める
交流会へ



法文学部
平成元年卒業生
山根 真明

私は出身も就職も県外ですが、島根大学にはとても愛着があり、過去何度もホームカミングデーに参加しています。今回8年ぶりの開催でしたが、目的意識がはっきりしていて、大学の現状と進む方向や、さまざまな支援など卒業生として知りたいことを知ることができて理解が深まりました。中規模地方総合大学ならではの強みを生かした学部の連携、人材育成、地域貢献、地方から課題解決にむけた提案：あらためて島根大学の研究や教育を誇りに思える機会となりました。これから先も大学には真理を探究する場として、知識だけでなく心を育て、社会に役立つ人材の育成に期待しています。そしてホームカミングデーが今後も卒業生との絆を深める交流会として続くことを心より願っています。

10月13日 松江キャンパス



10月20日 出雲キャンパス

